

令和8年度 一般選抜（三期） 入学試験問題

【 国語（現代の国語） 】

※科目【英語（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ）】、【国語（現代の国語）】、【数学Ⅰ、数学Ⅱ（場合の数と確率のみ）】、【情報Ⅰ】、【簿記・会計】の5科目の中から出願時に届け出た2科目を、解答してください（受験票に科目名を記載しています）。

※試験時間は、2科目で100分です。

※この問題冊子は【国語（現代の国語）】です。

I. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- (2) 出題科目、及びページは下表のとおりです。

出題科目	ページ
国語（現代の国語）	1 ～ 11

- (3) 問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 問題の解答は、すべて別に配布する解答用紙に記入してください。
- (5) 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入してください。
 - ① 受験番号欄
受験番号を記入してください。
 - ② 氏名欄
氏名・フリガナを記入してください。

II. 解答上の注意

<国語（現代の国語）>について

- (1) 解答欄への選択肢の記号（ア・イ・ウ・エ・オ …）の記入、および 文字の記入は、読み間違えのないように ていねいに書いてください。

国語

第一問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

ぼくは猫が好きで、ずっと飼っている。

猫たちはどのように生きているか、なぜそういう生き方か。見ていて飽きない。

そういう小さな日常の感覚と、学問として環境や生態といった大きな自然のシステムを研究することは、一見関係ないように見えて、実は同じ地平でつながっている。

① 最近、いってみれば猫などの動物を通じて環境を知ろうというような研究や教育のアプローチが盛んだ。

それでいいのだろうか。大事なことはまず、猫はどんな動物か、犬とどう違うかを具体的に知ることではないだろうか。

今の生態学には環境という考えが入りすぎているのではないかと思っている。

猫の生態を知るために、猫そのものを調べるのではなく、猫がどういう環境を持っているか調べましょうというのは、②話の順番が違うのではないか。

環境にしる生態にしる、相手にしているのは漠然とした正体のわからないものだ。学問とは本来、そういう大きな疑問の、まずどこから手をつければいいかを考えるもので、猫は、少しでも具体的にわかるところから疑問を解いてみようとするひとつの事例にすぎない。

部分がわかったからといって全体がわかったことにはならないということに、研究者はもつと注意するほうがいいのではないだろうか。学問の本質と目の前のテーマとの関係を、はつきり知っておくことが大切だと思う。

自然現象は幅広い。

人間が調べたひとつやふたつの要素でできあがっているのではないということをやんと認識することがいちばん重要で、おおげさにいえば、それは我々が自然とはどういうも

のかを基本的にどのように認識するかということに関係してくるだろう。

人間には自然を破壊することはできてもコントロールすることはできない。ぼくはそう思っている。

ある時代から人間は、科学の力で自然を制御できると思いはじめ、今もそう信じているが、それは③な間違いだ。

自然には人間がわかっている以上のたくさんの変数があり、自然をいじってダメにすることはできるけれども操^{もが}ることはできない。

自然を動かしているシステムはもって複雑だ。

だからこそ環境や生態といった自然を対象とする研究は、具体例から進めていくのがいいと考える。人間にはそれしかできないはずなのだ。

もちろん、原子力や遺伝子の操作のように、人間は自然現象の一部分を止めたり進めたりはできるようになったかもしれない。ほかの動物にくらべれば、少しできるようになったのだろう。

しかし全部は無理だ。それでいばってしまったらおしまいだ。

その意味で、④地球温暖化もそう簡単に止められないだろうと思う。化石燃料が大気のバランスを壊す一因になったとは思いますが、気候変動そのものは、地球に人類が生まれる前から起こっている複雑な自然現象だ。

科学のおかげで人間はいろいろなことをできるようになったが、それで自然全体をコントロールできると思うのは非常に危険だという気がする。

いきものの生態を観察するために、アクアリウムや飼育箱のような限られた実験空間が必要なことがある。

ぼくはもともとそうやっていきものやその環境をコントロールすること自体にあまり興味がない。しかしそういうことが好きな人もいて、困ったことに、そのほうが科学的だと思われる。

科学とはすなわちコントロールすること、そして人間は科学ができ、ほかの動物はでき

ない。

限られた箱の世界をのぞき込むうちに、⑤そういう認識を育ててしまいやすいことには気がつけなくてはならないだろう。

ただばく自身、チョウのさなぎの色が変わる原因を調べたり、ハチの生育条件を探ったりするのに、飼育箱はおおいに利用した。

自然をコントロールしている変数を知ることに関心がないのではなく、自然の中でどうしてこういうことが起こっているのかを知りたいのだ。

わかるとそれはうれしい。でも、だからといって自然を変えていけるとは思わない。そんなふうに考えたこともない。

いったい何が原因なのか、ということを知りたいだけだ。

(中略)

たとえば節足動物は、なぜ節足動物になってしまったか、ということから考える。たまたま祖先がそうだったから、彼らは体節を連ねる外骨格の動物になっていった。

⑥体の構造上、頭の中を食道が通り抜けることになり、脳を発達させると食道にしわ寄せがいくようになった。ではどうしたらいいか。

樹液や体液、血液といった液状のエサを摂ることにした。それが、その形で何とか生き延びる方法だった。節足動物といういきものは、そういう苦勞をしている。

動物学では、現在の動物の形が必ずしも最善とは考えない。

⑦そうならざるをえない原因があり、その形で何とか生きているのだと考える。

なぜそういう恰好をして生きているのか、その結果、どういう生き方をしているのか。そういつた根本の問題を⑧追ギユウするのが動物学という学問なのだと思う。

いろいろないきものを見ていくと、こんな生き方もできるんだなあ、そのためにはこういう仕組みがあつて、こういう苦勞があるのか、なるほど、それでやつと生きていられるのか、ということが、それぞれにわかる。

わかってみると感激する。その形でしか生きていけない理由を、たくさん知れば知るほ

ど感心する。

その感激は、原始的といわれるクラゲのような腔腸動物でも、高等といわれるほ乳類でもまったく同じだ。

このごろ、よく、④生物多様性はなぜ大事なので~~す~~かと聞かれる。ぼくは、簡単に説明するときはこんなふうにいう。

生態系の豊かさが失われると人間の食べものもなくなります。食べものも、もとは全部いきもので、人間がそれを一から作れるわけではないのですから、いろんなものがいなければいけないのです、と。

ただそれは少し説明を省略したい方で、ほんとうは、あらゆるいきものにはそれぞれに生きる理由があるからだと思っている。

理由がわかって何の役に立つ、といわれれば、何の役にも立ちませんよ、というほかない。しかし役に立てるためだったら、こんな格好をしていないほうがいいというものがたくさんある。

人間も、今こういう恰好をしているが、それが優れた形かどうかはわからない。これでも生きていけるという説明はつくけれども。

だからこそ動物学では、海の底のいきものも人間も、どちらが進化していてどちらが上、という発想をしない。

いろんないきものの生き方をたくさん勉強するといいと思う。ぼくはそれでとてもおもしろかったし、そうすることで、不思議に広く深く、静かなものの見方ができるようになるだろう。

いきものは全部、いろいろあるんだな、あつていいんだな、ということになる。つまりそれが、生物多様性ということなのだと思う。

(日高敏隆『世界を、こんなふうに見てこらん』(集英社文庫)による)

※問題作成のため本文を一部変更・省略したところがあります。

問一 本文には次の文章がぬけています。この文章が入る直前の十字をぬき出さない。

(句読点も字数に含む)

ちように、何も知らない素人が、電車を止めることはできても、電車全体を運行させることはできないように。

問二 ・にあてはまる言葉として適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ たとえば ウ また エ つまり オ すると

問三 傍線部②「話の順番が違うのではないか」とありますが、作者はどうすることが重要だと考えていますか。二十五字で本文から探し、はじめと終わりの五字をぬき出さない。(句読点も字数に含む)

問四 にあてはまる言葉として適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 初歩的 イ 具体的 ウ 一般的 エ 根本的

問五 傍線部④「地球温暖化もそう簡単に止められないだろうと思う」とありますが、筆者がそう考える理由として適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 大気のバランスを壊す一因となる化石燃料を、現代社会ではいまだに大量に使用しているから。
- イ 原子力や遺伝子の操作のように、人間は科学によって自然全体をコントロールできると思い込んでいるから。
- ウ 気候変動は人類誕生以前からある複雑な自然現象であり、人類の手に負えるものではないから。
- エ アクアリウムや飼育箱のような実験空間を用意することができないため、地球環境を対象とした研究は進みにくいから。

問六 傍線部⑤「そういう認識」とはどのようなものですか。次のア～エの説明のうち適当でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 科学によって、自然全体をコントロールできるという認識。
- イ 科学とは、いきものや環境をコントロールすることであるという認識。
- ウ 科学で自然をコントロールすることは、人間にしかできないことであるという認識。
- エ 科学によって、自然を変えていくことはできないという認識。

問七 傍線部⑦「そうならざるをえない原因があり、その形で何とか生きているのだと考える」とありますが、これについて次の問いに答えなさい。

「何とか生きている」とありますが、節足動物の場合、何とか生き延びるためにどのような生き方をしていますか。「くという生き方。」につながるように、八字で本文中からぬき出さない。(句読点などは字数に含まない)

問八 傍線部⑧「追ギユウ」とありますが、このカタカナを漢字に直したときに使用する漢字と同じ漢字を使用するものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自らの理想を探ギユウする。
- イ 事故の原因をギユウ明する。
- ウ 議会の解散について言ギユウする。
- エ 必要な栄養をギユウ収する。

問九 傍線部⑨「生物多様性はなぜ大事なのですか」とありますが、「生物多様性」とはどのようなものか。三十二字で本文から探し、はじめと終わりの五字をぬき出さない。(句読点も字数を含む)

問十 本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 生物多様性が失われると人間の食べものもなくなってしまうため、これからは人間が一から食べものを作る必要がある。
- イ 動物学においては、クラゲのような腔腸動物も高等といわれるほ乳類もまったく同じであると考えている。
- ウ 人類は科学の進歩によって、原子力や遺伝子の操作など、自然の一部をコントロールできるようになってきている。
- エ いろんないきものの生き方を勉強すれば、広く深い知識を身に付けることができる。

第二問 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① 問題が複雑だ。
- ② 以上で報告を終わります。
- ③ お金を預金する。
- ④ 交通事故に注意する。
- ⑤ 人口が増加している。
- ⑥ 意見を交換する。
- ⑦ 新製品の広告を見る。
- ⑧ 病気の原因を調べる。
- ⑨ 水を節約する。
- ⑩ 都合が悪くて行けない。
- ⑪ 会議が延期された。
- ⑫ 磨耗したタイヤを新品と取り替える。
- ⑬ 汚職の嫌疑をかけられる。
- ⑭ 選挙で投票する。
- ⑮ 文章を推敲する。

第三問 次のカタカナ部分を漢字一字と送りがな（ひらがな）に直しなさい。

- ① 足の裏がスレテ痛い。
- ② 彼のイサマシイ行動に心を打たれた。
- ③ どの商品を選ぶべきかナヤマシイ。
- ④ 騒音が眠りをサマタゲル。
- ⑤ 東京でレストランをイトナム。
- ⑥ 先生が生徒たちをヒキイル。
- ⑦ 深く頭をタレル。
- ⑧ 工事の予算をケズル。
- ⑨ 病気が長引き、体力がオトロエル。
- ⑩ 資金がツキル可能性がある。

第四問 次の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① サンセイ多数で可決された。
- ② 彼の発言にはシンケンみがある。
- ③ 重要なケツダンを下す。
- ④ 外国語をシヨウトクする。
- ⑤ 会議がチヨウキに及ぶ。
- ⑥ シセイを正す。
- ⑦ 彼のウンメイが気になる。
- ⑧ ショウイの期待に応える。
- ⑨ 経済がフツコウする。
- ⑩ テイアンを受け入れる。
- ⑪ メイワクをかけてすみません。
- ⑫ 商品をハイタツする。
- ⑬ 意見をベツヒョウする。
- ⑭ 予算案をサイケツする。
- ⑮ 心にヨコウがある。

國語

解答用紙 (表面 第一問)

受験番号	
フリガナ 氏名	

[illegible]

第一問 文章問題

国語 解答用紙（裏面 第二問～第四問）

第二問 漢字の読み

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第三問 書き取りとふりがな

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第四問 漢字の書き取り

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

解答欄への文字の記入は、読みやすい字で、いねいに書いてください。
また、漢字は、楷書で書いてください。
読みにくいと判断された場合には採点されない場合がありますので留意してください。

国語

解答用紙（表面 第一問）

受験番号	
フリガナ氏名	

問十
ウ

5点

問八
イ

2点

問九
い
き
も
の
は

5点

と
い
う
こ
と

9点

問七
液
状
の
エ
サ
を
概
る

9点

問四
エ

3点

問五
ウ

5点

問六
エ

5点

問三
猫
は
ど
ん
な

5点

に
知
る
こ
と

9点

問二
①
ア
⑥
オ

2点

2点

問一
操
る
こ
と
は
で
き
な
い
。

9点

第一問 文章問題

国語 解答用紙 (裏面 第二問～第四問)

第二問 漢字の読み

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
すいこう	せんきよ	けんぎ	まもう	えんき	つこう	せつやく	げんいん	こうこく	こうかん	ぞうか	じこ	よきん	いじよう	ふくざつ

第三問 書き取りとふりがな

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
尽きる	衰える	削る	垂れる	率いる	営む	妨げる	悩ましい	勇ましい	擦れて

第四問 漢字の書き取り

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
余裕	採決	発表	配達	迷惑	提案	復興	周囲	運命	姿勢	長期	習得	決断	真剣	賛成

解答欄への文字の記入は、読みやすい字でていねいに書いてください。
また、漢字は、楷書で書いてください。
読みにくいと判断された場合には採点されない場合がありますので留意してください。